

**製品名: hnRNP M ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85667**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC   |
| 反応性    | ヒト、マウス、ラット   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | -  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。         |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW: 78 kDa; Observed MW: 78 kDa    |

**抗原情報**

|              |   |
|--------------|---|
| 遺伝子名         | hnRNP M   |
| 別名           | CEAR; HNRPM; HTGR1; NAGR1; HNRPM4; HNRNPM4; hnRNP M |
| 遺伝子 ID       | 4670.0  |
| SwissProt ID | P52272  |
| 免疫原          | ヒト hnRNP M1-M4 の合成ペプチド                              |

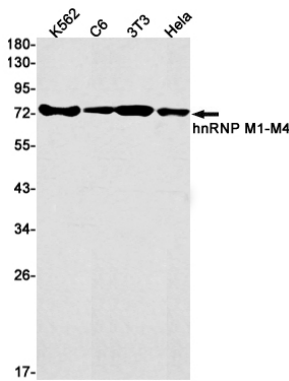
**背景**

この遺伝子は、普遍的に発現する異種核リボ核タンパク質（hnRNP）のサブファミリーに属します。hnRNP は RNA 結合タンパク質

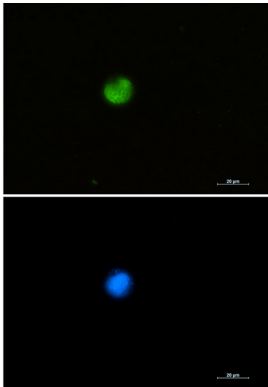
であり、異種核 RNA (hnRNA) と複合体を形成します。これらのタンパク質は核内の pre-mRNA と関連しており、pre-mRNA のプロセッシングや mRNA 代謝・輸送のその他の側面に影響を及ぼすと考えられています。すべての hnRNP は核内に存在しますが、一部は核と細胞質の間を往復しているようです。hnRNP タンパク質はそれぞれ異なる核酸結合特性を持っています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RNA に結合する準 RRM ドメインの 3 つの繰り返し配列を有しています。このタンパク質は、未熟な GlcNAc 含有チログロブリン分子の選択的リサイクルを誘導すると考えられている N-アセチルグルコサミン特異的受容体のモノマーも構成しています。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生成されます。

## 研究分野

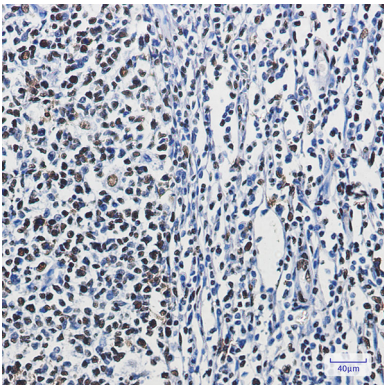
## 画像データ



hnRNP M1M4 抗体を使用した K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の hnRNP M1M4 のウエスタンプロット分析。



hnRNP M 抗体および DAPI (青) を使用した 293 の hnRNP M (緑) の免疫細胞化学分析。



hnRNP M1M4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。

